

# 第 20 回 通常社員総会

## 議 案 書

月 日 令和 3 年 5 月 27 日 (木)  
場 所 NPO 法人シーズネット研修室  
時 間 13 時 30 分 ～



NPO 法人 シーズネット

## 総 会 次 第

### 1. 開 会

### 2. 資 格 審 査 報 告

### 3. 議 長 選 出

### 4. 議事録署名人選出

### 5. 議 事

第1号議案 令和2年度事業報告について

第2号議案 令和2年度決算報告について

第3号議案 令和2年度の監査結果について

第4号議案 度令和3年度事業計画書(案)について

第5号議案 令和3年度活動予算書(案)について

第6号議案 定款変更について

第7号議案 シーズネット会費規則(案)について

第8号議案 理事・監事の改選(案)について

### 6. その他

### 7. 閉 会

令和2年度事業報告書  
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する		
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはたらくと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動の強化等を重点的に取り組む		

2. 特定非営利活動に係る活動

◆理念を啓発する活動

事業名		予算	決算	事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目				
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の充実	—	—	会員が講師を引き受ける講座を増やします	令和2年7月まで講師を手配し準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、中止しました。 その後も感染終息が見通せず講座の実施を見合わせました。 令和2年7月から年間4回の計画で進めましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため第1回を9月に繰り下げてスタートしました。その後も感染拡大終息が見通せず第2回以降は中止しました。
	住いの情報セミナー開催	500,000	198,105	札幌市住宅管理公社の委託事業を継続実施します	
	シニアの暮らしアドバイザー講座開催	100,000	46,364	介護保険、住まいなどの勉強会をシリーズで行います。	9/15～10/27の期間(全6回)で参加予定者半数で開催しました。 コロナ感染拡大のためシリーズでの実施は出来ませんでした。
	市民公開講座開催	—	—	シーズネットの理念の啓発・浸透を目指す講座を開設します	コロナ感染拡大を受けて、実施を中止しました。
	団地サミット開催 (主催北海道住宅管理公社)	270,000	0	公的住宅等の孤立防止に向けた講演等を開催します	コロナ感染拡大を受けて、集合しての開催は行わず、DVDを作成して配付することとしました。(制作はブランズEPO)
	シニア提言の集い開催	—	—	アクティブシニアの活力ある生活を創造する活動を継続します	コロナ感染拡大を受けて、実施を中止しました。
小計		870,000	244,469		

◆仲間づくり・居場所づくり

事業名		予算	決算	事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目				
	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	(1,000,000)	(356,871)	サークル数増とリーダーの後継者問題に取り組めます	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、サークルの実情に合わせて対策を講じながらの実施であり、課題解決に向けての取り組みが困難な状況でした。 サークルの実施形態により
	サークル立上げ相談に対応します	—	—	新規サークル立上げに向けて事務局が積極的に対応します。	

- ①三密が回避できないサークルは、全面中止  
 ②三密の緩和が図れるサークルは、感染防止対策を講じながら実施  
 以上のような状況から稼働状況は前年度の15%となりました。

(資料-2参照)

- ・コロナ禍ではありますが、3つのサークルが立ち上がりました  
 ・7月からリモートによる歌声、脳活、セミナー等を延35回開催し、  
 ウイズコロナを想定した活動のテスト開催を試みました

高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業

推進会議の定期開催と事務局との連携	—	—	サークル活動の活性化に向け推進会議の開催と事務局との連携を密にします	
シーズネット祭り開催	—	—	サークル活動内容を市民に公開し、豊かなシニアの在り方等の周知・啓蒙を図る	
サークルの他団体イベントに参加	—	—	他団体のイベントに参加する等社会貢献の意識を醸成します	
地域交流サロンこのはなの活動の充実	(600,000)	(160,435)	地域交流サロンこのはなの活動を活性化しコミュニケーションとしての役割を担います	新型コロナ感染拡大を受けて、6月から開所日を週3日、感染予防を施しながら開所しました。その後の再拡大を受けて11月から全面休館といたしました
もみじ台管理センター運営協力	3,240,000	3,240,000	住民の地域支え合い事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します (日興美装工業(株)受託事業)	もみじ台管理センター活用事業は、令和1年度が最終年度でした管理センターの大口利用者が撤退したことに伴い、現状での継続が不能となりましたが、とりあえず前年度と同様の条件で運営協力を実施しました
札幌市サロン運営補助事業協力	(100,000)	(0)	サロン立ち上げの技術的アドバイスや申請を支援します (札幌市受託事業)	コロナ禍の影響で密になる活動は、自粛傾向にあり、支援依頼・相談はありませんでした
他サロンと協働して活動をアピールする	—	—	他サロンとの交流を深め協働して発表等の場をつくります	新型コロナ感染拡大のため、人を集合させての行事は中止しており、各サロン等と協働して活動する機会を実現できませんでした
保養センター駒岡が開催する文化講座支援	(350,000)	(237,273)	保養センター駒岡が開催する文化講座を支援します (保養センター駒岡委嘱事業)	保養センターは6月まで完全休業いたしました7月から再開され、講座は原則として月4回 感染防止を徹底して開設しており、指導員3名を派遣しました
小計	3,240,000	3,240,000		

参考資料

1. 会員の組織状況 (資料-1)  
 2. サークル・グループ活動集計 (資料-2)

◆役割づくり

事業名	サブ項目	予算	決算	事業内容	実施結果
メイン項目					
高齢者の福祉向上、居住安定のための相談支援等事業	北海道及び札幌市の高齢者向け住宅に関する登録等業務を受託する登録等業務	11,915,000	12,000,600	①サ高住登録事業を受託実施 (北海道・札幌市) ②有料老人ホーム届出受理事業を受託実施(札幌市)	サ高住登録業務を北海道と札幌市から、有料老人ホーム届出業務は札幌市から受託し、それぞれ円滑に業務を進めています
	あんしん住まいサッポロなどの連携	—	—	「あんしん住まいサッポロ」の情報誌の発行・販売に協力	協力体制をとっていましたが、あんしん住まいサッポロが札幌市居住支援協議会専属窓口となり、情報誌の取り次ぎは行わないことになりました
	札幌市「空き家対策事業」協力	—	—	札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係機関との連携	能動的な活動はしていません。事象発生の都度参画する用意はしています

高齢者の認知機能低下予防のための研究等事業	脳活塾の開講	369,585	800,000	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡大	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から9月まで活動を休止しました。11月から再開するも参加者は3割減となりました。地方への出前講座も10月から再開しました。マスコミの取材も3件あり、WEBでの開催も延9回実施しました
	脳活塾の普及	—	—	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及	
	各地の脳活活動に協力	—	—	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協力	
	シーズネット版ボランティアポイント制度の普及	—	—	特技や資格等をボランティア活動に役立てる仕組みと市民ボランティアを育成し派遣	
異世代交流、子育て支援、施設や在宅支援などのボランティア派遣事業	話し合いたいサポーター派遣事業	300,000	0	傾聴ボランティアを継続実施	新型コロナウイルス感染症により、対面での支援活動は自粛しており活動はすべて中止しました
	市民ボランティア事業	80,000	60,000	「大通花壇づくり」「森林づくり事業」のボランティアを募り継続実施 （「森と緑の会」の助成金を活用）	
	中国帰国者支援事業	450,000	450,000	中国帰国者の孤立しないための拠点づくり事業を継続実施（北海道社会福祉協議会受託事業）	
	ガレージセール実施協力	—	—	北大の留学生のためのガレージセールを引き続き協力	
豊かな高齢社会の実現に向けた各種の調査研究事業	街頭募金活動の実施	—	—	赤い羽根共同募金の街頭募金活動を引き続き実施	新型コロナウイルス感染症を受け、春季・秋季とも開催が中止され、協力活動ができませんでした。 コロナ感染拡大を受けて、実施を中止しました。
	シニアの社会参加に向けた調査研究事業	—	—	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研究事業に取り組む	
	評価活動の推進	650,000	0	福祉サービス第三者評価活動を継続実施	
	小計	14,195,000	12,880,185		

◆その他目的に沿った事業

事業名		予算	決算	事業内容	実施結果
メイン項目	サブ項目				
その他、目的を達成	シニア人生の多様なニーズ課題解決	—	—	他のNPO法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組む	団地サミットの間をとりえ連携を計画していましたが、コロナ禍の影響で団地サミットの形態が変更され、活動が取り止めませんでした
	他団体との連携・協働	—	—	鉄西地区及び平岸地区町内会等の団体との連携・協働に努める	鉄西地区町内会、平岸地区町内会に加盟し、当該地区町内会の各種行事・会議に参加しました



事業	するために必要な事業	地域生活支援推進協議会に参加	—	—	北区社会福祉協議会が進める「地域生活支援推進協議会」に参加し、地域課題の解決に協力	協議会に参加し、地域活動の進め方等に意見提起する等活動に協力しました
		黄色いレシートキャンペーンに協力	(30,000)	(22,600円)	「黄色いレシートキャンペーン」の登録団体として寄付を募る	黄色いレシートキャンペーンの主旨に賛同し登録団体として22,600円のギフトカードを受領しました
		小計	—	—		
		合計	18,305,000	16,364,654		

## ◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	予算	決算	事業内容	実施結果
理事長責務事項	積極的な情報開示	—	—	認定NPO法人として活動報告、計算書等をHPで情報公開	社員総会で承認された活動報告、活動計算書、財務諸表等は適正に情報公開しています
	担当分掌による業務遂行	—	—	組織運営体制に基づく担当分掌を決め適正に遂行	理事の役割分担、運営会議メンバーの分掌を整理して遂行しています
	寄付金募金の促進	—	—	・社会貢献活動の積極的実施とPR ・賛助会員への積極的アプローチ	活動賛助への寄付、賛助会費の組み入れ、外部活動による収益からの寄附等が 411,030円ありました
	毎月、三役、理事、事業担当者で定例会開催	—	—	毎月定例会開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努める	業務理事及び事業担当責任者8名を定例メンバーとして、毎月1回開催しました
運営会議	決定事項の適切な開示	—	—	決定した事項を通信等で会員に開示	定例会開催した内容を翌月の通信に、コラムを設けて会員に周知しました
	推進会議の定例会開催	—	—	適正なサークル運営を実践するため毎月定例会開催	コロナ禍の影響でサークル活動が自粛していることから、推進会議も自粛しています。役員交代の手続きもあり、10月から隔月で開催しました。
会員支援	会員困りごと窓口の開設	—	—	会員の困りごとと解決のため相談支援窓口を開設	専用電話は開設しましたが、受け皿となる組織体制をつくることができず機能していません
	会員交流の場の実施	—	—	今年度の「シーズネット祭り」「会員交流会」は中止	年度当初から中止を決定していました
支部活動支援	支部活動費支援	—	—	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給	R2年3月末日の会員数により各支部にR2年度分の活動費を支給しました
	支援部代表者会議の実施	—	—	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設ける	コロナ感染拡大を受けて、実施を中止しました
広報活動	活動紹介リーフレット・ビデオ作成	—	—	リーフレット・ビデオを新規に作成し啓発活動に活かすとともに新入会員オリエンテーションを充実	会員の在り方の方の検討結果から、活動目的・理念を整理した上で、啓発する内容を検討して制作することとしました
	シーズネット通信の継続発行	—	—	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続	・コロナ禍の影響で6月号の発行を中止しましたが、翌月6・7合併号を発行して継続性を堅持することができました ・ちえりあ、市民交流プラザ、道市民活動促進センター（かでる2.7）の広報ラックの活用を継続実施しました。（ちえりあはR3.3～R4.2迄休館）

事務局体制	ホームページの維持・改善	—	—	ホームページを活用してシーズネットの活動を広く周知する。またリニューアルを検討	・総会で承認された、活動報告、活動計算書、財務諸表等をホームページに公開しました ・リニューアルについて取扱い適任者を選定中です(継続事項)
	事務局管理体制の強化	—	—	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理	・認定NPO法人としての文書管理、定期報告等を励行しています ・規則類の現行化の維持と公開を適正に実施しています
	会員の入退会情報の管理	—	—	入退会情報を把握する会員の管理の在り方を検討	会員の在り方の整理を進めており、その中で管理方法を検討します
	事務局体制の充実	—	—	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実	会員管理、講演会等開催補助はほぼ充足、会計管理は継続して募集します
	認定NPO法人の継続認証	—	—	条例指定によらない継続認証に向け事務作業の整備	・PSTの基本認識のすり合わせが十分でできませんでした ・会員の整理、特に賛助会員の整理を継続して検討します。

### 3. その他の事業

	物品の斡旋及び販売	—	—	今年度は計画しておりません
	役務の提供	—	—	今年度は計画しておりません





## 1. 会員の組織状況(令和3年3月31日)

(資料-1)

## (1) 会員数

区 分		令和2年度末	令和1年度末	新規加入	退 会
会 員 総 数		780名	945 名	64名	229名
正会員	個人	755名	922名	61名	228名
	団体	17団体	15団体	2名	0名
賛助会員	個人	8名	8名	1名	1名
	団体	0名	0名	0名	0名

## (2) 男女別会員数及び平均年齢

区 分	令和2年度末	令和1年度末	新規加入	退 会
男 性	230名	269名	25名	64名
女 性	525名	653名	36名	164名
平均年齢	76.5 歳	75.4歳	—	—

## (3) 地域別会員数

区 分	令和2年度末	令和1年度末	新規加入	脱 会
札 幌	546名	663名	32名	149名
旭 川	144名	184名	17名	57名
函 館	57名	53名	10名	6名
その他地区	8名	22名	2名	16名

## 2. 役員名簿(令和2年3月31日現在)

役 職	氏 名	住 所
理 事 長	奥 田 龍 人	
統括副理事長	千 秋 憲 博	
副理事長 事務局長	山 根 勝 利	
理 事	青 木 基 成	
理 事	笠 谷 明 司	
理 事	西 原 桂 子	
理 事	大 島 康 雄	
理 事	山 本 純 子	
理 事	宮 村 善 英	
理 事	渡 邊 一 栄	
理 事	川 尻 明	
監 事	篠 塚 正 徳	
監 事	小 野 忍	

## サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計		計	
		2年度		31年 元年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	5	67	10	192
2	絵手紙教室	10	49	11	46
3	男の料理教室	1	9	11	161
4	お抹茶を楽しむ会	2	15	9	94
5	歌謡サークル	0		11	334
6	グランド・ゴルフクラブ	5	29	14	141
7	五行歌	4	37	11	115
8	ゴルフを楽しむ会	7	97	8	114
9	酒と語り場	0		11	193
10	茶話会	0		10	185
11	茶話会北24	1	10		
12	シーズネット合唱団	0		19	938
13	初級川柳教室	9	27	11	46
14	シングルの会	1	5	11	204
15	ステップ&ステップ	0		21	527
16	たそがれ勉強会	3	20	20	138
17	楽しいお花	10	57	11	82
18	楽しいシニア人生	2	42	9	204
19	楽しいリコーダー入門	7	82	22	276
20	短歌勉強会	7	40	11	70
21	ノルディック・ウォーキング	2	27	11	208
22	パソコン勉強会	5	29	12	48
23	陽だまりの会	0		11	192
24	百聞会	5	77	10	221
25	福祉タクシーで行く旅の会	0			
26	ボウリングサークル	0		11	139
27	盆踊りの会	8	52		
28	民謡を楽しむ会	0		11	54
29	洋楽を歌う会	0		1	11
30	旅行サークル	0		7	128
31	わくわく同好会	4	77	9	165
32	呼びかけ	0		0	
33	スポーツダンスライラック			4	12
34	ハーモニカ・オカリナ同好会			20	296
35	ひよっこ舞踊			3	11
36					
37					
38					
39					
40					
合 計		98	848	351	5,545

## 令和2年度決算報告

(第2号議案-1)

## 貸 借 対 照 表

(令和3年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	8,146,349		
未収金	3,201,055		
仮払金	236,340		
貯蔵品	0		
流動資産合計		11,583,744	
2. 固定資産			
什器備品	7		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		45,007	
資産合計			11,628,751
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,448,526		
未払消費税等	519,900		
預り金	33,078		
前受金	247,500		
流動負債合計		2,249,004	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			2,249,004
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		9,720,940	
当期正味財産増減額		-341,193	
正味財産合計			9,379,747
負債及び正味財産合計			11,628,751

その他の事業は実施しておりません

## 令和2年度決算報告

## 財 産 目 録

(令和3年03月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金		8,146,349	
自主運営事業手持ち現金	737,485		
助成受注事業手持ち現金	6,395		
北海道銀行札幌駅前支店	4,947,583		
北洋銀行北7条支店	471,618		
ゆうちょ銀行	1,983,268		
未収金		3,201,055	
北海道建築指導課(サ付登録)	453,310		
札幌市(サ付登録・有老届出)	2,134,000		
日興美装工業㈱	297,000		
札幌市介護支援専門員連絡協議会他	316,745		
仮払金		236,340	
会議会場費(札幌市民ホール)	8,100		
サークル傷害等保険料	174,240		
第三者評価認証次年度分	54,000		
流動資産合計		11,583,744	
2. 固定資産			
什器備品	7		
電話加入権	15,000		
出資金	30,000		
固定資産合計		45,007	
資産合計			11,628,751
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金		1,448,526	
3月分給与等 4/15払	1,032,462		
各種費用未払額(消耗品、通信費他)	140,102		
事務局活動費	245,162		
会計委託報酬未払	30,800		
未払消費税等	519,900	519,900	
預り金		33,078	
源泉税・住民税預り金	33,078		
前受金		247,500	
受講料翌年度分前受	247,500		
流動負債合計		2,249,004	
2. 固定負債		0	
負債合計	0		2,249,004
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		9,720,940	
当期正味財産増減額		-341,193	
正味財産合計			9,379,747

その他の事業は実施しておりません

## 令和2年度決算報告

(第2号議案-3)

# 活動計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 会員会費収入	2,383,000	
2. 活動参加収入	764,579	
3. 寄付金収入	411,030	
4. 助成事業収入	5,211,800	
5. 自主受注事業収入	11,463,042	
6. 雑収入	1,580,581	
経常収益計		21,814,032
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		15,633,092
(1) 人件費		10,964,991
人件費計	10,964,991	
(2) その他経費		4,668,101
厚生費	920,557	
賃借料(家賃を含む)	999,608	
消耗品費	132,845	
水道光熱費	173,840	
旅費交通費	473,122	
租税公課	142,500	
諸謝金	511,520	
通信費	297,803	
印刷費/広告	69,812	
委託費/支払報酬	400,634	
その他の経費	545,860	
2. 管理費		6,522,133
(1) 人件費		0
人件費計	0	
(2) その他経費		6,522,133
賃借料(家賃を含む)	1,599,842	
消耗品費	640,878	
水道光熱費	320,707	
旅費交通費	1,644,673	
租税公課	440,803	
保険料	33,400	
通信費	1,053,389	
委託費/支払報酬	269,956	
その他の経費	518,485	
経常費用計		22,155,225
当期正味財産増減額		-341,193
前期繰越正味財産額		9,720,940
次期繰越正味財産額		9,379,747

※その他の事業は実施していません。



## 財務諸表の注記

(第2号議案-4)

## 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

## (1) 固定資産の減価償却の方法

定率法によっています。

## (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

## 2. 事業別経常費用の内訳

(単位：円)

	シーズネット 合 計	①管理部門	②事業部門	事業部門の内訳		
				③自主運営	④受注受託	⑤諸 口
経常費用	22,155,225	6,522,133	15,633,092	1,637,405	13,804,189	191,498
人件費	10,964,991	0	10,964,991	16,668	10,948,323	0
給料手当	9,588,326	0	9,588,326	0	9,588,326	0
法定福利費	1,376,665	0	1,376,665	16,668	1,359,997	0
その他経費	11,190,234	6,522,133	4,668,101	1,620,737	2,855,866	191,498
会場費	230,059	4,273	225,786	183,577	42,209	0
会議費	2,019	0	2,019	2,019	0	0
厚生費	920,557	0	920,557	70,018	850,539	0
賃借料	1,491,178	995,798	495,380	45,380	450,000	0
消耗品費	773,723	640,878	132,845	91,840	41,005	0
水道光熱費	494,547	320,707	173,840	10,184	163,656	0
旅費交通費/運搬	2,117,795	1,644,673	473,122	427,012	46,110	0
手数料	228,530	154,725	73,805	750	71,555	1,500
租税公課	583,303	440,803	142,500	0	9,200	133,300
諸謝金	583,342	71,822	511,520	165,000	346,520	0
保険料	47,998	33,400	14,598	14,598	0	0
通信費	1,351,192	1,053,389	297,803	107,606	190,197	0
諸会費	19,000	7,000	12,000	12,000	0	0
新聞図書費	68,904	35,607	33,297	4,497	28,800	0
印刷費/宣伝費	104,358	34,546	69,812	34,472	35,340	0
支払報酬	502,690	109,956	392,734	38,182	354,552	0
支払家賃	1,108,272	604,044	504,228	286,044	218,184	0
備品購入費	81,636	81,636	0	0	0	0
修繕費	0	0	0		0	0
委託費	167,900	160,000	7,900	0	7,900	0
雑費	256,533	128,876	127,657	127,558	99	0
償却費	56,698	0	56,698	0	0	56,698

## 3. 使途等が制約された寄付等の内訳

当法人の正味財産は9,379,747円ですが、そのうち指定されているものは有りません。

## 4. その他

その他の事業は実施しておりません

# 監査報告書

(第3号議案)

令和3年4月24日

特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田 龍人 様

監事

篠塚正徳 

監事

印

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日)の特定非営利活動法人シーズネットの業務及び財産の状況と事業報告書及び計算書類(財産目録、貸借対照表及び活動計算書)について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会に出席し必要と認める場合には質問を行った。また、財産の状況に関する監査に当たっては、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められました。

よって、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人シーズネットの令和3年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上



# 令和3年度事業計画書(案)

## 1. 理念・方針

理 念	高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を目指すための活動として「仲間づくり」「居場所づくり」「役割づくり」「支え合い」をキーワードにした事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する
方 針	認定NPO法人としてレベルアップを図り、会の存在意義であるシニアがはつらつと活動するための新しい取り組みへのチャレンジと仲間や賛同者を増やすための活動強化等を重点的に取り組む

## 2. 特定非営利活動に係る活動

### ◆理念を啓発する活動

事 業 名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
目的に沿った各種講演会、講習会、研究会等の開催事業	知恵袋講座の開催	—	知恵袋講座と市民公開講座を統合し、講座のテーマにより対象を変えて実施します。※リモート開催を検討します
	市民公開講座の開催	—	(コロナ禍の影響で年度当初での予定は立ちません)
	住いの情報セミナー開催	500,000	住いのセミナー(札幌市住宅管理公社受託事業)を引き続き受託します(コロナ禍による中止条項あり)
	シニアの暮らしアドバイス講座開催	50,000	介護保険、住まいに関する勉強会を開催します。※環境が整えばリモートによる開催を検討します
	団地サミット開催 (北海道住宅管理公社主催)	0	主催者の判断によりますが、前年と同様集合しての開催はないと思料します。(実施方法に関らず協力します)
	シニア提言の集い開催	—	実施の環境が整えば開催します (コロナ禍の影響で年度当初での予定は立ちません)
小計		550,000	

### ◆仲間づくり・居場所づくり

事 業 名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
高齢者等のサロン・サークル等の開催運営事業	サークルの取組の改善及び後継者問題に取り組む	(450,000)	サークル数の増とリーダーの後継者問題に取り組めます
	サークル立ち上げ相談に対応します	—	新規サークルの立ち上げに向けて事務局が積極的に対応します。
	推進会議の開催と事務局との連携	—	会の存在意義を体現する中心的な存在としてのサークル活動の改善と活性化を図ります。
	シーズネット祭り開催	—	コロナ禍により事前準備に取り組めないで中止します
	サークルが他団体イベントに参加推進	—	社会貢献意識の醸成は継続して啓発します (コロナ禍の影響で年度当初での予定は立ちません)
	地域交流サロンここのはなの活動の充実	(250,000)	スタッフの刷新を図り、コロナ感染の推移を見極めながら、活動の活性化を図り、地域コミュニティとしての役割を担います
	もみじ台管理センター運営協力	3,030,000	地域コミュニティーを促進する事業としてのもみじ台管理センター運営に協力します。 (日興美装工業㈱受託事業)
	札幌市サロン運営補助事業協力	(100,000)	サロン立ち上げの技術的アドバイスや申請を支援します (札幌市受託事業)
	他サロンと協働で活動をアピールする	—	他サロンとの交流を深め、協働して活動を発表する場を創ります
	札幌市保養センター駒岡の文化講座支援	400,000	保養センター駒岡で開催する文化講座の支援として、初心者麻雀講座に指導者を派遣して協力します (保養センター駒岡委嘱事業)
小計		3,430,000	

◆役割づくり

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
高齢者の福祉向上、 居住安定のための 相談支援等事業	北海道及び札幌市の高 齢者向け住宅に関する 登録等業務を受託	13,010,000	①サービス付き高齢者向け住宅の登録事業受託 (北海道・札幌市) ②有料老人ホーム届出受理事業(札幌市) ※作業体制を整備し、堅実に運営します
	あんしん住まいサッポロ との連携	—	姉妹法人である「あんしん住まいサッポロ」の活動を支 援します
	札幌市「空き家対策事 業」協力	—	札幌市の「空き家対策事業」に協力し、関係機関との連 携に努めます
高齢者の認知機能 低下予防のための 研究等事業	脳活塾の開講	400,000	高齢期の認知機能低下に備える既存講座の充実と拡 大を図ります
	脳活塾の普及	—	マスコミや情報誌の協力を得て脳活塾の普及を図りま す
	各地の脳活活動に協力	—	道内各地の福祉団体等からの出前要請にできる限り協 力します
異世代交流、子育て 支援、施設や在宅支 援などのボランティ ア派遣事業	会員及び市民ボランティ ア活動の育成・啓発事業	—	・会員の特技や資格を把握してボランティア活動に役立 てる仕組みを作ります。シーズネット版ボランティア制度 を見直し、普及に努めます。 (コロナ禍の鎮静を待って具体化します)
	話し合いたいサポーター 派遣事業	300,000	継続実施を目指しますが、コロナ禍の先行きが見通せ ないので環境が整うまで中断します
	市民ボランティア事業	80,000	「大通花壇づくり」や「森林づくり事業」などに取り組む会 員を募り、環境整備のボランティア事業を継続実施しま す 「森と緑の会」の助成金を活用
	中国帰国者支援事業	450,000	北海道社会福祉協議会から「北海道中国帰国者支援 事業」を継続して受託します
	ガレージセール実施協 力	—	コロナ禍で中断していますが、主催者の実施判断に従 い協力します
	街頭募金活動の実施	—	コロナ禍で中断していますが、主催者の実施判断に従 い協力します
豊かな高齢社会の 実現に向けた各種 の調査研究事業	シニアの社会参加に向 けた調査研究事業	—	シニアの社会参加やこれからの暮らしに関する調査研 究事業に取り組みます
福祉サービス第三 者評価事業	評価活動の推進	650,000	福祉サービス第三者評価活動を継続実施します
小計		14,890,000	

◆その他目的に沿った事業

事業名		予算(収入)	事業内容
メイン項目	サブ項目		
その他、目的を達成 するために必要な事 業	シニア人生の多様な ニーズの課題解決	—	シニア人生の多様なニーズに対応するため、他のNPO 法人や民間団体とも連携し課題解決に取り組めます
	他団体との連携・協働	—	鉄西地区町内会、平岸地区町内会等の団体との連携・ 協働に努めます
	地域生活支援推進協議 会に参加	—	北区社会福祉協議会が推進する「地域生活支援推進 協議会」に参加し、地域課題の解決に協力します
	黄色いレシートキャン ペーンに協力	(30,000)	「黄色いレシートキャンペーン」に登録し、ボランティア団 体としての寄付を募ります
小計		—	
合計		18,870,000	



◆組織活動を活性化する運営計画

メイン項目	サブ項目	予算(収入)	事業内容
制度の見直し	会員の整理	—	正会員、賛助会員の区分整理を明確にし、会員自身が選択する方法で整理します
理事長責務事項	積極的な情報開示	—	認定NPO法人として活動報告、計算書等をホームページ等で積極的に情報公開します
	担当分掌による業務遂行	—	組織運営体制に基づく担当分掌を定め適正に遂行します
	寄付金募金の促進	—	・評価される社会貢献活動の実施とそれに伴う寄付行為の環境を醸成する
運営会議	毎月、三役、理事、事業担当者で定例開催	—	毎月定例開催し、事業活動と収支活動の健全な運営に努めます
	決定事項の適切な開示	—	決定した事項を通信等で会員に開示します
会員支援	推進会議の定例開催	—	適正なサークル運営を実践するため毎月定例開催します
	会員困りごと窓口の開設	—	会員の困りごとと解決のため相談窓口を運営します
	会員交流の場の実施	—	今年度の「シーズネット祭り」「会員交流会を」はコロナ禍のため中止します
	会員意見交換会の開催	—	各区ごとに会員意見交換会を実施します(3回程度実施)
支部活動支援	支部活動費支援	—	函館・旭川支部を支援するため活動費を支給します
	支援部代表者会議の実施	—	支部活動の在り方等の意見交換の機会を設けます
広報活動	活動紹介リーフレット・ビデオ作成	—	リーフレット・ビデオを新規に作成し啓発活動に活かすとともに新入会員オリエンテーションを充実します
	シーズネット通信の継続発行	—	シーズネット通信を毎月発行し会員へ送付する他、公共施設の掲示ラックの活用や広報活動団体への送付を継続します
	ホームページの維持・改善	—	ホームページを活用してシーズネットの活動を広く周知する。またリニューアルを検討します
	創立20周年記念誌の発行	—	創立20周年を記念し、記念誌「きずな」を発刊します
事務局体制	事務局管理体制の強化	—	規定を適正に運用し、認定NPO法人として適切な事務処理を図ります
	会員の入退会情報の管理	—	入退会情報を把握する会員管理の在り方を検討します
	事務局体制の充実	—	事務局業務を担うボランティアを募集し体制の充実を図ります
	認定NPO法人の継続認証	—	条例指定によらない認証に向けPSTの環境整備を図ります

3. その他の事業

	物品の斡旋及び販売	—	今年度は特に計画しておりません
	役務の提供	—	今年度は特に計画しておりません

## 令和3年度活動予算書 (案)

(第5号議案)

(令和3年年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 会員会費収入	2,400,000		
2. 活動参加収入	1,350,000		
3. 寄付金収入	400,000		
4. 助成事業収入	5,600,000		
5. 自主受注事業収入	13,270,000		
6. 雑収入	1,515,000		
経常収益計			24,535,000
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費		17,992,500	
(1) 人件費		11,970,000	
人件費計	11,970,000		
(2) その他経費		6,022,500	
厚生費	976,000		
賃借料(家賃を含む)	1,115,000		
消耗品費	200,000		
水道光熱費	200,000		
旅費交通費	685,000		
租税公課	75,000		
諸謝金	1,145,000		
通信費	320,000		
印刷費	65,000		
委託費	570,000		
その他の経費	671,500		
2. 管理費		6,500,000	
(1) 人件費		0	
人件費計		0	
(2) その他経費		6,500,000	
賃借料(家賃を含む)	1,650,000		
消耗品費	650,000		
水道光熱費	350,000		
旅費交通費	1,700,000		
租税公課	200,000		
保険料	50,000		
通信費	1,100,000		
委託費	260,000		
その他の経費	540,000		
経常費用計			24,492,500
当期正味財産増減額			42,500
前期繰越正味財産額			9,379,747
次期繰越正味財産額			9,422,247

## シーズネット定款変更(案)

現行の定款規定	新しい定款規定(案)	解説
<p>第29条 (議事録)</p> <p>社員総会を開催したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席した正会員数 (表決委任者が<u>ある場合</u>にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関すること</p> <p>第5章 理事会</p> <p>第37条 (議事録)</p> <p>理事会を開催したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 理事総数及び出席した理事数及び理事氏名 (表決委任者が<u>ある場合</u>にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関すること</p>	<p>第4章 社員総会</p> <p>第29条 (議事録)</p> <p>社員総会を開催したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 正会員総数及び出席した正会員数 (書面による表決者又は表決委任者にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関すること</p> <p>第5章 理事会</p> <p>第37条 (議事録)</p> <p>理事会を開催したときは、次に掲げる事項を記載した議事録を作成しなければならない。</p> <p>(1) 日時及び場所</p> <p>(2) 理事総数及び出席した理事数及び理事氏名 (書面による表決者又は表決委任者にあつては、その数を付記すること。)</p> <p>(3) 審議事項</p> <p>(4) 議事の経過の概要及び議決の結果</p> <p>(5) 議事録署名人の選任に関すること</p>	<p>書面表決者の記述を追記</p> <p>書面表決者の記述を追記</p>

## シーズネット会費規則

新旧対照表（変更部分は下線で示す）

新規則	旧規則	説明																
<p>第1条(目的)</p> <p>本規則は、特定非営利活動法人シーズネット(以下「本法人」という。)の定款第1章総則第8条の規定に基づき、本法人の会費に 関し必要な事項を定める。</p> <p>第2条(会費の種類)</p> <p>本規則で定める年会費は次のとおりとし、会費は入会するとき 並びに以後毎年納めなければならない。</p> <table><tr><td>個人正会員</td><td>5,000円</td></tr><tr><td>団体正会員</td><td>10,000円</td></tr><tr><td>個人賛助会員</td><td>一口 3,000円</td></tr><tr><td>団体賛助会員</td><td>一口10,000円</td></tr></table> <p>2. 入会の申込み、会費の徴収、滞納整理等の事務処理に関する 規定は、理事長が別に定める。</p> <p>第3条（会費の納入方法）</p> <p>会員は、当該年会費を下記のいずれかの方法により納付しなけ ればならない</p> <p>(1) 口座振替</p> <p>会費請求案内のあった月の翌月末までに届出の金融機関 の口座より口座振替により納付する。その場合、振替手数 料は会員負担とする。</p> <p>(2) 振込納付</p> <p>会費請求案内のあった月の翌月末までに会員宛に送付す る振込み依頼書により、金融機関からの振込みにより納付 する。その場合、振込手数料は会員負担とする。</p>	個人正会員	5,000円	団体正会員	10,000円	個人賛助会員	一口 3,000円	団体賛助会員	一口10,000円	<p>第1条(目的)</p> <p>本規則は、特定非営利活動法人シーズネット(以下「本法人」という。)の定款第1章総則第8条の規定に基づき、本法人の会費に 関し必要な事項を定める。</p> <p>第2条(会費の種類)</p> <p>本規則で定める年会費は次のとおりとし、会費は入会するとき 並びに以後毎年納めなければならない。</p> <table><tr><td>個人正会員</td><td>3,000円</td></tr><tr><td>団体正会員</td><td>10,000円</td></tr><tr><td>個人賛助会員</td><td>一口 3,000円</td></tr><tr><td>団体賛助会員</td><td>一口10,000円</td></tr></table> <p>2. 入会の申込み、会費の徴収、滞納整理等の事務処理に関する 規定は、理事長が別に定める。</p>	個人正会員	3,000円	団体正会員	10,000円	個人賛助会員	一口 3,000円	団体賛助会員	一口10,000円	<p>個人正会員の会費を 3,000円から 5,000 円に上げる。</p> <p>第3条に「会費の納 入方法」の条文を追 加する。</p> <p>※振込手数料は会 員負担とする。</p>
個人正会員	5,000円																	
団体正会員	10,000円																	
個人賛助会員	一口 3,000円																	
団体賛助会員	一口10,000円																	
個人正会員	3,000円																	
団体正会員	10,000円																	
個人賛助会員	一口 3,000円																	
団体賛助会員	一口10,000円																	

<p>(3) 持参 会費請求案内のあった月の翌月末までに、事務局へ直接持参し納付する。</p> <p>第4条(会費の不返還) 既納の会費は定款第12条の規定に基づき、その理由の如何を問わず返還しないものとする。</p> <p>第5条(会費の有効期限) 本規則第2条で定めた会費の納入に伴う、会員資格の有効期限は、会費を納入した月から1年間とする。</p> <p>第6条(会費の滞納) 会費の滞納が、正当な理由なく2ヶ月以上におよぶ会員は、定款第9条第3号の規定により会員資格を喪失する。</p> <p>第7条(改廃) 本規則の改廃は、社員総会の決議を経て行う。</p> <p>付則 この規則は、平成27年4月1日より施行する。 この規則は、令和4年4月1日より施行する。</p>	<p>第3条(会費の不返還) 既納の会費は定款第12条の規定に基づき、その理由の如何を問わず返還しないものとする。</p> <p>第4条(会費の有効期限) 本規則第2条で定めた会費の納入に伴う、会員資格の有効期限は、会費を納入した月から1年間とする。</p> <p>第5条(会費の滞納) 会費の滞納が、正当な理由なく2ヶ月以上におよぶ会員は、定款第9条第3号の規定により会員資格を喪失する。</p> <p>第6条(改廃) 本規則の改廃は、理事会の決議を経て行う。</p> <p>付則 この規則は、平成27年4月1日より施行する。</p>	<p>以下、条番号を繰り下げる。</p> <p>理事会から社員総会の決議に変更。</p> <p>付則を追加</p>
---	--	---



理事・監事の選任（案）について

本年の通常社員総会の終結のときをもって任期満了となる理事及び監事の後任の選任について、次の者を推薦します。

理 事 候 補

奥 田 龍 人 (再 任)

千 秋 憲 博 (再 任)

山 根 勝 利 (再 任)

青 木 基 成 (再 任)

笠 谷 明 司 (再 任)

大 島 康 雄 (再 任)

山 本 純 子 (再 任)

宮 村 善 英 (再 任)

渡 邊 一 栄 (再 任)

小野寺 さゆみ (新 任)

監 事 候 補

篠 塚 正 徳 (再 任)

小 野 忍 (再 任)



